

平成29年度 第1回 理 事 会 議 案

(釧路テニス協会) 2017年4月13日

・平・吉田・井上・渡部・荒川・斎藤・遠藤・立花・三上・鈴木・西田・石川・大碓・川村・芳賀・
・阿部(雅)・阿部(圭)・後藤・田中・

※下線は欠席

報 告 事 項

1. 平成29年度 第40回 釧路テニス協会総会 結果
参加人数 **16**名+委任状 **65**通= **81** (参加率 **40.9%**)

質疑応答

Q 都市対抗の支出が大きいですが、出場する意義とは何なのか。

A 都市対抗に出場することは各都市の協会運営のなかで大きな目的のひとつであり、都市対抗そのものは都市同士競い合うことで全体のレベルアップを促すものと考えている。

Q 都市対抗出場者の負担金を増やすべきではないか。

A 協会としては、ポイント上位者から選ばれた選手たちに” お願いして” 出場してもらっている立場なので、あまり多くの負担を強いたくないと考えているが、過去にも不公平感があるという意見をいただいているので、5,000円負担という結論に至っている。

Q 繰越金が増えてきたので会員還元事業でそれを減らしていくと説明していたが、5万円程度の減額の見込みでは減るとは思えない。

A 減額の見込みが少ないというご意見はそのとおりである。年間の協会の支出は450万円程度なので、繰越金は年間の支出の半分程度の200万強をプールしておくのが一般的と考える。また50周年事業が10年後に控えているのでその資金を備えるためでもある。

Q 実際昨年度もどのような還元があったかもわからないので、コート利用料の割引などを実施してほしい。

A 昨年度は講習会やジュニアの試合球を増やすということで還元としていた。コート代は市の条例で決められているため割引は難しく、またコートの借り上げは過去に一部の団体が占有してしまうなど不公平であるとの意見があったため、以降実施していない。次年度以降も様々な形で還元方法を検討していきたいと考えているので、引き続きご意見を頂戴したい。

Q 今年度団体会員が値下げされたが、正会員（個人会員）の値下げ幅が小さい。正会員の登録費が高いことで、団体に所属していない会員の加入を逃しているとも思えるがいかがか。

A 団体の加入を勧めたほうが、団体内の勧誘が促進され加入者が増えるという考え方で金額を設定していた。ただ、団体に加盟できない人が躊躇しているという意見は今後の参考にしていきたい。

2. その他

特になし

議 題

1. 北海道都市対抗テニス大会出場者

男子：芳賀嵩浩 川村真士 大碓慎也 三上建 一戸翔太 斎藤慎一郎 田中久督 本川和佳
女子：山下真央 渡部充紀 吉田陽子 佐々木文 村上香 遠藤香織

理事会で承認

2. その他

過去に正会員（個人会員）で入会し、その後団体に加盟したため団体会員費との差額を返金していた事例があったが、今年度以降は実施しないこととした。